

令和5年度第1回全国健康保険協会石川支部評議会 議事要旨

日時 令和5年7月19日(水)10時00分～11時30分

場所 全国健康保険協会石川支部 大会議室

出席者 評議員(各50音順、敬称略)

【学識経験者代表】

小里評議員、高見評議員、森山評議員

【事業主代表】

小野島評議員、八木評議員、山田評議員

【被保険者代表】

坂本評議員、山岸評議員、山口評議員

議事

- (1) 2022(令和4)年度決算見込みについて
- (2) 令和4年度 石川支部事業実施結果について

議事概要

- (1) 2022(令和4)年度決算見込みについて
資料1: 2022(令和4)年度決算見込みについて

【学識経験者代表】

2022年度の収支差の説明の中で、「今後の財政は不安定な海外情勢や物価高の影響等で経済の先行きが不透明」とあるが、民間で賃上げが進み、政府も「賃上げする構造ができていく」と言っている中で、なぜ「不透明」としているのか。

【事務局】

足元の賃上げによる賃金の上昇が当面は見込まれるが、被保険者数の伸びが鈍化していることや物価高の影響等で経済の先行きが不透明であることから、これまでのような保険料収入の増加が今後も続くとは期待しがたいこと、一方で医療費が高い伸びで推移していることや後期高齢者支援金の増加が見込まれることなどから、医療費の伸びが賃金の伸びを上回るという財政の赤字構造は変わっていないと考えている。

【学識経験者代表】

被保険者数の伸びがプラス0.1%にとどまったという理由が、2022年10月の法改正で国や自治体に勤務する短時間労働者が共済組合に移行したためとあるが、今後も法改正などの要因で、増加に歯止めがかかる可能性はあるのか。

【事務局】

被保険者数については緩やかな増加傾向にあったが、2022年10月の制度改正により全国で約94万人、石川支部では約1万人弱が共済組合に移行した。被保険者数の伸びの動向については、引き続き注視してまいりたい。なお、今回のような大規模な法改正は予定されていない。

【学識経験者代表】

今後、小規模な健康保険組合が解散するケースは考えられるか。

【事務局】

2023年度の予算集計によると、2023年度は全組合の約8割が赤字の見込みであり、協会けんぽの平均保険料率10%以上の組合は、2011年度の105組合に対し、2021年度は307組合と増加。健保組合を取り巻く状況は厳しく、2023年度以降は、団塊の世代が後期高齢者となることにより後期高齢者支援金が急増することが見込まれ、賃金引き上げによる保険料収入への効果も予想しがたく、今後の財政状況が懸念される。財政状況が悪化した健康保険組合が解散を選択し、協会けんぽに移る事態も予想される。

【学識経験者代表】

準備金残高が積み上がっている点について、協会としてどう考えているか。

【事務局】

協会けんぽでは、現在、一定の準備金を保有しているが、これは協会財政が赤字構造であることや経済の先行きが不透明であること、医療費の変動などにより数年後に訪れることが見込まれる財政赤字を見据えて、可能な限り長期にわたって現在の平均保険料率10%を超えないようにするための準備資金として保有しているものである。運営委員会や各支部の評議会においても、できるだけ長く平均保険料率10%を維持すべきといった意見が多く寄せられており、協会の今後の財政は楽観視できない状況にあることを鑑みると準備金を保有する必要性は高いと考えている。

(2) 令和4年度 石川支部事業実施結果について

資料2：令和4年度 石川支部事業実施結果について

【被保険者代表】

広報活動について、支部ごとの独自性は高いのか、また、ジェネリック医薬品のように全国的に広めていかなければいけないものは共通した内容なのか等、広報の仕組みの現状

を教えていただきたい。

【事務局】

保険料率変更など共通部分についての広報は本部で作成し、全国紙や地方紙に掲載する。それ以外の部分については、支部ごとの戦略に応じて変わってくる。例えば、ジェネリック医薬品の使用割合や、健診の受診率等の数値は支部によって異なるため、支部としてどこが弱いのか、どこを強化したい等の戦略を持ちながら、それに応じた広報を展開していくことになる。

【被保険者代表】

主な取り組みの実施結果や、以前いただいた令和 5 年度の事業計画を拝見したが、なかなか困難な目標があるなかで達成率が高い。こうして支部の職員が努力されて達成に近づいていることに感謝申し上げます。引き続き頑張ってください。

【事務局】

ありがとうございます。事業によってはまだまだ足りない部分もありますが、応援を受け、さらに頑張ってください。

【学識経験者代表】

マイナンバーカードの紐付けの件で、協会けんぽに影響があるのか教えていただきたい。

【事務局】

医療保険者向け中間サーバーに登録されたマイナンバーがエラーとなったものについて、地方公共団体情報システム機構への照会を行い、点検作業を進めている。協会けんぽとしては、厚生労働省の方針に従い点検作業を進めるとともに、今後とも適切な個人番号の取扱いを心がけていく。

【学識経験者代表】

健診費用の減額にかかる取り組みについて説明いただきたい。

【事務局】

協会が補助率を上げたことにより健診の自己負担額が軽減され、事業者健診とほぼ同額となった。今年から事業者健診から生活習慣病予防健診に切り替えたという声もいただいている。がん検診も含まれている生活習慣病予防健診を積極的に受けていただきたい。

傍聴者 : なし
次回開催 : 令和5年10月を予定